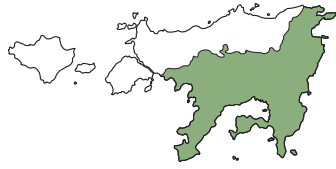


議 会 だより



小豆島町

No.40

平成28年5月1日 発行

第88回選抜高校野球大会



『四国新聞2016年3月22日付』

燃えた6,000人のアルプススタンド-夢ありがとう-

小豆島高校 最優秀応援団賞

- 審議議案
平成28年度予算について 2
- 一般質問
11名の議員が質問 4~11
- 小学生議会開催 12・13
- 住民の声・町の力 14

3月定例会は、2月25日から3月16日まで21日間の会期で開かれました。

初日に、町長の28年度施政方針の演説があり、小豆島の新しい可能性をひらく基盤づくりのため「健康づくり」「子育て・人づくり」「産業づくり」「農業の再生と復権」「文化・アート総合戦略」「交通の復権」「自然・環境」「国際交流・移住者」「防災対策、人権問題、社会資本整備」の分野に予算編成し、実践していくことを表明しました。

一般質問には、11人の議員が登壇し、産業・観光・防災・教育・文化・福祉・水道など、多方面にわたって論戦を展開しました。

また、条例改正や補正予算などを審議し、原案のとおり可決しました。

28年度一般会計、特別会計など合わせて9会計については、総務建設常任委員会、教育民生常任委員会にそれぞれ付託し、集中審査を行い、すべての予算を原案のとおり可決しました。

主な事業

健康づくり

小豆島中央病院を核とした地域包括ケアシステムによる地域づくり

地域包括ケアシステムの推進に向けた 新病院への投入額	3億8,381万6千円
旧内海病院の改修費	12億8,092万4千円

子育て・人づくり

すくすく子育てアクションプランの実践

認定こども園建設事業	5億6,181万円
保育所緊急整備事業	3,543万8千円

新しい高校を生かした文武両道の人づくり

学校司書配置事業	226万3千円
音楽振興補助事業	200万円

文化・芸術の振興、健康づくりの推進

壺井栄・黒島伝治・壺井繁治 再発見プロジェクト	400万円
二生公民館耐震改修事業	4,586万5千円

産業づくり

産業活性化の施策

プレミアム商品券	1億3,176万6千円
商工会一本化による体制強化	670万円
商工業振興計画策定事業	257万1千円

環境

自然・環境の取り組み

一般住宅リフォーム助成事業	1,000万円
空き家の適正管理、活用事業	2,429万4千円

農漁業

農漁業の再生と復権の取り組み

漁港高潮対策 (当浜・福田・吉田・牛ヶ浦・入部)	1億1,782万2千円
有害鳥獣対策 緩衝帯や防護柵の設置に対する支援	2,350万円
狩猟免許取得や捕獲に対する支援	2,373万2千円

交通

交通の復権

公共交通再編事業	3,067万円
(町営バス運行事業)	797万6千円
(オリーブバス減収支援事業)	1,051万2千円

文化・アート

文化・アート総合戦略

2016瀬戸内国際芸術祭 (小豆島町未来プロジェクト)	1億851万1千円
石の文化の世界遺産化 (世界考古学会議プレシンポジウム・プレツアー)	1,400万円

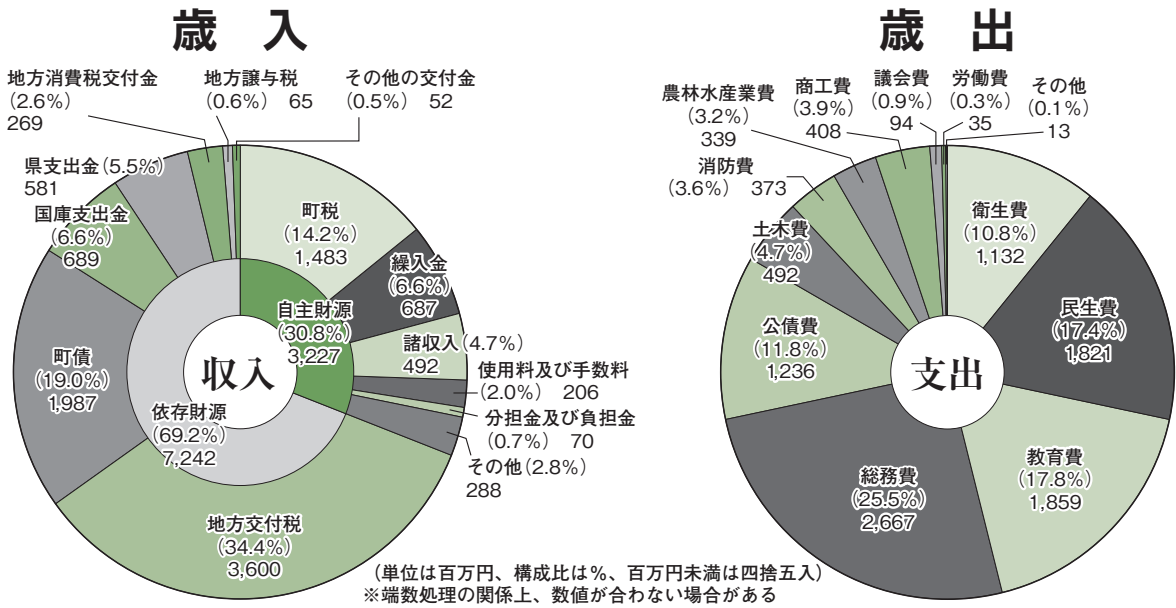
国際交流

国際交流・移住者の取り組み

国際交流アドバイザー英語研修	120万円
NPOによる空き家活用プロジェクト	400万円
移住者向け民間賃貸住宅家賃助成	1,500万円

1億総活躍社会と地方創生の実現を目指して

平成28年度予算・意見をつけて可決



【委員会意見】

- 小豆島観光協会、小豆島町観光協議会、小豆島とのしょう観光協会について、経費の効率化のため、組織の一本化に向け検討を図られたい。⇒商工観光課
- 障害者の通院支援制度について、早急に確保されたい。⇒健康づくり福祉課
- 内海病院の未収金の回収に、しっかり対応されたい。⇒内海病院
- ヘルパーの人材確保へ向けた研究をされたい。⇒介護サービス課
- 住宅の改修等について、地域の意見集約に努められたい。⇒人権対策課
- 水質検査のデータを検証し、自然環境の保全につなげてほしい。
- 老朽危険空き家の解消に向けて、早急に努められたい。⇒環境衛生課
- 内海地区の将来の就学前教育について、早急に検討されたい。⇒子育て共育課

13件の条例・予算議案・請願を総務建設、教育民生の各常任委員会に付託して延べ4日間わたって、次のような審議をし、意見を付け、賛成多数で原案通り可決しました。

補正予算

一般会計(第7号)

2億667万6千円が提案され、平成27年度の予算総額は104億73万6千円となりました。

第7号補正は国の地方創生加速化交付金が追加配分されたことによる補正と、その殆どが事業費精算による増減額が主なものです。

総務費関係

元気高齢者の活躍による農村漁村の再生加速化事業 4,010万円

瀬戸内海の小豆地域から発信する移住・定住促進事業 4,774万5千円

情報セキュリティ強化対策業務委託料 3,000万円

小豆島高校を支える会補助金 2,500万円
小豆島高校に対する寄付金相当分です。

民生費
年金生活者等支援臨時福祉給付 8,100万円
平成28年度中に65才以上となる年金対象者(所得制限あり)に3万円を給付します。

条例制定

小豆島町商品券条例
商品券の額面1,000円とし、町内の消費拡大と商工業の振興を目的として、条例を定めるものです。

条例の一部改正

行政不服審査法の施行に伴う関係条例の整備に関する条例
行政不服審査法が平成28年4月1日から施行に伴い、町の関係条例を整備するものです。
地方公務員法及び地方独立行政法人法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例
職員の人事評価と退職管理等について整備するものです。

その他の一部改正条例

- 役場の位置を定める条例
- 行政組織条例等
- 病院事業の廃止に伴う関係条例
- 訪問看護ステーション条例を廃止する条例
- 行政手続条例
- 税条例等
- 職員の給与に関する条例
- 議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例及び特別職の職員で常勤のものとの給与及び旅費に関する条例
- 特別職の職員で非常勤のものとの報酬及び費用弁償に関する条例
- 自家用自動車有償運送に関する条例
- 放課後児童クラブ条例
- 都市公園条例
- 消防団の定員、任免、給与、服務等に関する条例
- 町職員の勤務時間、休暇等に関する条例

その他の審議事項

- 農業委員の任命につき同意を求めることについて

- 小豆島中央病院企業団規約の一部変更
- 香川県広域水道事業体設立準備協議会規約の一部変更
- 新町建設計画の変更
- 辺地総合整備計画の策定及び変更
- 過疎地域自立促進計画の策定
- 教育委員の任命につき同意を求めることについて

人権擁護委員の推薦
木村玲子氏(草壁)が平成28年6月30日をもって退任するにあたり、新任 山口眞理子氏(西村)

請願

森林・林業政策の推進に関する意見書の提出を求める請願書
提出者 全国林野関連労働組合 四国地方本部 香川分会
紹介議員 森 崇
総務建設常任委員会に付託し、審査した結果、委員会及び本会議ともに「一部採択」となりました。

議員発議

議会委員会条例の一部改正条例

ヘイトスピーチ対策に関する意見書
特定の国籍の外国人や人種、民族を排斥する差別的言動、いわゆるヘイトスピーチが大きな社会問題となっており、対策を講ずるよう意見書を内閣総理大臣等の6機関に提出しました。

森林・林業政策の推進を求める意見書
山村地域の再生、地域経済の活性化を図るために、森林・林業施策の推進を求める意見書を内閣総理大臣等の11機関に提出しました。

議会活性化特別委員会の設置

議会の果たす役割がますます重要であり、住民に開かれた議員活動の方策を調査検討するため設置するものです。

委員長	谷 康男
副委員長	松 下 智
委員	浜 口 勇
委員	鍋 谷 真由美
委員	森 崇
委員	柴 田 初子
委員	中 松 和彦
委員	坂 口 直人

一般質問



坂口 直人 議員

過疎地域における消防活動

町「自主防災組織の活動を支援している」

質問 昼間の火災に対するの初期消火が難しい。自治消防との連携は。

答弁 訓練未実施の自主防災組織への呼びかけや技術的な助言を行う、活動の活性化、防災知識の底上げを図る。国では、元消防署員や元消防団員が準団員として活動できる制度を検討している。町としても今後のあり方について検討する。

日本遺産への取り組み状況

町「日本遺産認定を申請している」

質問 木桶を使った醤油づくりは、世界に誇る産業文化遺産である。日本遺産の認定に向けた取り組みは。

答弁 日本遺産認定を申請している。構成される文化遺産は、醬の郷の登録有形文化財群、島の自然環境を象徴する寒霞溪、星ヶ城跡、また大坂城石垣の石切丁場跡、そして木桶職人復活プロジェクトである。他地域に負けなさと確信している。



(復活した木桶職人)

食と農の景勝地について

町「制度が発表されたら、検討を進めたい」

質問 観光需要を地方に普及させるため、農林水産省にて、食と農の景勝地を創設するための検討委員会が設置された。島の食品産業の海外進出のため、認定に向けたアプローチをしては。

答弁 地域の食を観光に活用する発想はよい。日本遺産とあわせて活用していきたい。早速、農林水産省と相談をしたい。検討委員会の動向を注視し、商工観光課、社会教育課等、関係課と協議をしながら検討を進めたい。

プレミアム商品券の成果は

国道整備の具体的案は

教員の労働時間実態は

町「成果はあったが、

精査・検討も必要」

町「今後議会と協議し、

県に強く要望する」

町「今後地域に開かれた

学校運営が必要」

質問 地場産業の振興・

地元商店の活性化のため、28年度も引き続き商品券を発行するとあるが、昨年発行したプレミアム商品券の成果を検討してからの発行でもよいのではないか。

答弁 商品券も完売し、換金率も100%で一定の成果はあったと思う。しかし公平性の問題、事務局の体制とか、本当に商店にとって活性化につながったかは、今後アンケート調査結果内容を精査したい。

できていますのか。

また、商工会内の体制も最近色々話題になっているが、現状は。

質問 瀬戸芸の開催、

新病院の開院、そして新高校の開校と島の交通の流れが大きく変わろうとしている。

交通の復権に関し、

安心・安全な通院通学と周遊性を高める国道整備を県に対して働きかけるとあるが、どのような具体案を考えているのか。

赤坂く丸山間の拡幅、池田平木信号付近の拡幅、通学用の自転車道の全線確保、車道での二輪車道の確保等多くが考えられる。

また草壁港付近拡幅

は進行中であるが、草壁港く西村清水間の国道は島の心臓部であり、

バイパス構想実現はまだ先になるのか。

質問 昨年7月四国新聞で「各小・中の教頭は1日13時間以上在校」、また今年2月「小・中の教員は1日13時間以上在校」と報道された。町内の状況は。

理由は事務の煩雑化、放課後指導、部活指導等考えられるが、学校ボランティア対応もいろいろ、町から部外指導者派遣の考えは。

質問 報道は文科省の全国的調査の数字で、本町においては、調査はしていない。聞き取りでは小学校で11時間、中学校では12時間程度、教頭はさらに1時間は長いとの回答があった。



また、これからの学校教育は学校だけで運営するのではなく、地域もかわり、参加する方向に転換すべき。今後の総合教育会議で部外者活用方策等についても議論したい。



大川 新也 議員

一般質問

また、小豆島が元気にするために、地元商店街が活性化することが不可欠である。現在休眠状態の商工業振興審議会を来年度再開し、活性化対策、商品券のあり方、体制等を含めて検討していきたい。

また草壁港付近拡幅は進行中であるが、草壁港く西村清水間の国道は島の心臓部であり、バイパス構想実現はまだ先になるのか。



草壁港周辺の国道

また、これからの学校教育は学校だけで運営するのではなく、地域もかわり、参加する方向に転換すべき。今後の総合教育会議で部外者活用方策等についても議論したい。

期日前投票の宣誓書について

町「7月の参議院議員選挙から実施したい」



柴田 初子 議員

有権者の負担を軽減し、投票率向上につながるこの方法を実施する予定は。

答弁 一番重要な本人

確認をどのようにするかを検討した。小豆島町においても期日前投票の利用者が年々増加している。

平成26年12月の衆議院議員総選挙では約17%の方が利用し、多い日は350人が投票に来られて投票所で宣誓書に記載していただくので大変混み合うこともあった。

指摘のように県下でも実施している自治体もあり、また予定している自治体もある状況

質問 平成23年12月議会で、この件についての質問から4年余り経過、その間の選挙管理委員会での協議等の結論はどうなっているか。
近年、投票用紙兼宣誓書を入場券がきの裏面に印刷して郵送、またはホームページからダウンロードして自宅で記入して期日前投票ができる自治体が増加している、県内では2市1町が実施。

の中、本町においても7月の参議院議員選挙から入场券がきの裏面に宣誓書を印刷したもので運用したいと考えている。

入场券を渡す際には、再度本人の確認を実施する。選挙前には十分住民の方に周知徹底したい。



池田港のさらなる活用について

町「将来の方向づけを間違えないように考えていきたい」



安井 信之 議員

力もかりながら、町でも行ってきた。今、課題・問題点がある状態ではないと思う。しかしながら、小豆島の状況が一転しようとしていると思う。

小豆島中央病院の開院、小豆島中央高校の開校に伴い、池田港の海上交通の利便性、安全性が大いに期待されてくる。

休憩バス建設・発着バースの増設の検討は。公共バスの路線とか料金の抜本見直し、あるいは瀬戸内国際芸術祭ということ、従来にない環境変化が小豆島に起きようとしているが、今のままの港湾、あるいは航路が問題が現実の課題になってきている。航路会社の再編成、あるいは航路の再編成ということも視野におくべき段階であると考えている。

質問 小豆島中央病院の開院・小豆島中央高校の開校に伴い、池田港の海上交通の利便性、安全性が大いに期待されてくる。

答弁 小豆島の場合、海上交通がどうなるかというの、小豆島の発展にとっても重要なことだと思う。それぞれの港に合った整備をこれまで県あるいは国の

将来の方向づけを間違えないように考えていきたい。



更なる活用が期待される池田港



藤本 傳夫 議員

池田の棧敷に舞台を

町「文化財の保全を

考えていきたい」

統的文化のよさを再確

認するきっかけにした

いと思っっている。現代

アートの島になるので

はなく、小豆島が八十

八ヶ所霊場や食の文化

や祭りとか、

そういうもの

をもう一度磨

く方向でなけ

ればいけない

と思っっている。

2016年

は多大な額を

瀬戸芸に投入

している位の

予算を、文化

財とか伝統芸

能とか、そう

いうものの保

全に向けてい

くという流れ

でこれから考

えていきたい。

その他の質問

・住民生活と係わりの

深い社会資本整備

瀬戸内国際芸術祭に歴史上、

小豆島の係わりのあった著名人に

光を当て世界に発信してはどうか

町「世界に発信する努力はしたい」



原 勇 議員

質問 高山右近は、今

年ローマ法王庁から

「福者」という地位が

与えられることが決ま

った。

瀬戸芸等で小豆島を

訪れる国の内外の人た

ちへ、島の魅力を高め

られる歴史上、小豆島

と関わりのあった著名

人の「小西行長」「高

山右近」らの島との関

連する情報を世界に発

信することにより、小

豆島の魅力が新たに加

わり更にレベルアップ

すると思うが。

答弁 高山右近を

ローマ法王庁へ申請す

るプロセスでは、小豆

島町長で推薦状を提出

した経緯がある。

一方、ユネスコへ世

界遺産登録を申請して

いた「長崎のキリスト

教遺産」は歴史を重視

した日本の独自性のある

ストーリーを再構築

するよう求められた

との報道があった。

熱心なキリシタンで

あった高山右近と隠れ

キリシタンが最近にな

って評価されることにな

った。

江戸時代の禁教令で

迫害を受けたにも関わ

らず隠れキリシタンの

島として小豆島が存在

してきた。姉妹都市の

茨木市や長崎県南島原

市も関心を持っている。

小豆島も長崎の飛び地

の世界遺産になり得る

と思っっている。

質問 池田の馬場には、秋祭りの日に神輿が鎮座する場所に、以前は歌舞伎舞台があった。十数年前に老朽化で解体したが、棧敷は国の重要有形民俗文化財に指定されている。

見る棧敷は見せる舞台があつてこそ、その価値があると考えられる。再建することほできないものか。

答弁 文化庁は点として文化遺産を保護し、地域にある文化や伝統を面として保存、保全し、それを観光や地域振興に生かすというのが大きな流れとなつてきている。

瀬戸芸は小豆島の伝



歌舞伎舞台があつた棧敷前(池田)

質問 高山右近は、今年ローマ法王庁から「福者」という地位が与えられることが決まった。瀬戸芸等で小豆島を訪れる国の内外の人たちへ、島の魅力を高められる歴史上、小豆島と関わりのあった著名人の「小西行長」「高山右近」らの島との関連する情報を世界に発信することにより、小豆島の魅力が新たに加わり更にレベルアップすると思うが。



小豆島に潜めし高山右近像 (土庄中央病院東側)

町職員の賃金実態と

改善についで

町「町職員団体とも話し合いを行い、適切な支給に努めたい」



森 崇 議員

住が大切だ。職員の条件など町職員団体と話し合い、改善すべきだ。

質問 人事院勧告は小泉内閣時代に民間の100人企業対象から50人企業になったので以前より公務員の賃金は低いが町職員の時間外が多いとの指摘もあった。正規職員と非正規職員の比率と年休取得の実態を知りたい。

答弁 地方公務員法第24条3項において国の人事院と県人事委員会の勧告を参考に議会の議決を得て実施してきた。ラスパイレース指数は94・8%で県内では下から3番目だ。これを上げるためには特別支給が必要で、難しいが労働意欲を減退させるような差は好ましくない。職員数は正規が384名、非正規は181名で32%。年休の取得は平均9・5日で47・5%だ。町職員団体と十分に話し合いを努める。

ボランティアの

町づくりについで

町「退職した町職員も参加し活動している」

質問 ボランティアの町づくりと言われて久しいが、もっと協力者を増やすべきだ。私もボランティアを続けたいが問題を感じている。皆んなに呼びかけることが大切と思う。元町職員にも声をかけてはどうか。

答弁 退職した職員にボランティアを要請するのは難しいが「お願いや雰囲気作りは可能だ」しかし退職者も大勢の方が自治会の役員をするなど活躍している。民生児童委員の4分の1・一九六四(いくむし)会やオーリーブ並木推進も町のOBが頑張っている。どちらにし

ても現役の町職員、OBが「時間や健康の許す限り」協力して戴くのが大切であり参加を呼びかける。



小豆島ヴィラからの景観

小豆島ヴィラの

支援についで

町「多面的な視点から支援を考えたい」

質問 倒産した小豆島ヴィラに住んでいる方は本当に困っている。水が出ないので町の水道課に何度も水を汲みに来ている。石の館に行く道(私道)も自分たちで出し合ったお金で舗装している。「小豆島の印象が悪くならない思いだ」と言っておられた。県河川砂防課の資料を見ると土石流発生は面積割で全国ワースト1だ。花崗岩が風化した小豆島の山はタマネギ風化と呼ばれている。小豆島ヴィラに住む人口増加は「町の政策にも合致しており」チャンスとも言える。地域住民が困った

時「手をさしのべる」のが行政だ。相談に乗ってあげて欲しいが。

答弁 小豆島ヴィラは風光明媚であり、小豆島のいい財産だ。水の問題は担当課が相談に乗って来た。今、4世帯が住んでいる。道路の修繕など現地も見た。今後、定住者と意見交換の機会を作りたい。支援に限界があるが治安の悪化や鳥獣被害の増加もある。定住者は顔が見える地元企業を歓迎している。一定の公益性、環境保全や産業振興、移住、定住推進など多面的な支援をしたい。



中松 和彦 議員

ふるさと納税制度を 地域の新たな活力へ

町「自治連合会とも相談し、 検討したい」

質問 ふるさと納税制度により多額の納税(寄付)を頂いているとのことだが、私たち町民がさらに推進し、自治会の抱える諸問題を解決するための用途を限定されない資金に活用できないか。

各自治会は、原資さ

えあればそれを活用し、会員の利便向上・地域の環境改善を図ることができ。また、新しい自治活動の創造・自治意識の向上にも役立つのでは。

答弁 先進的な自治体では、自治会への権限

委譲・財源の一括交付を行っている。将来、条件を整えば実験的に行ってみたい。ふるさと納税を自治会活動の資金とすることは可能と考える。自治連合会とも相談し、町執行部内でも検討していきたい。



秋長 正幸 議員

小豆島高校跡地の有効活用は

町「庁内プロジェクトチームを 28年度に立ち上げる」

質問 ①香川県の検討委員会の議論の自身、また、庁舎内のプロジェクトの内容、企業誘致など具体的な動きは。

②小高の土地は、地元の方々の協力があって出来た学校であり、学びの施設として利用すべきで、小豆島

町の、幼・保、小・中の統合再編をすること、中学校が小高へ行くことで解決するのでは。

答弁 ①県の検討委員会で具体的な方針は、現時点でも、今後も必ず出るとは言えない。庁内のプロジェクト

チームは、年度が始まり次第速やかに立ち上げ、動いていく。②小学校は100人を切るまで残す考えであったが、少し変わりつつあり、小高の活用も一つの方策として総合教育会議で議論する。

太陽光発電設備等による

景観への影響について

町「他市町の規制事例を参考に研究を始めたい」

質問 最近、わが町でも太陽光発電施設を見かけるようになった。観光産業の大きな資源である島の景観にそぐわない施設・設備など新たな開発に対する指針・規制が急がれるのでは。

答弁 開発事業の動向を早期に把握し、住民への説明や環境への配慮を助言の範囲で行っている。既に規制に乗り出した市町村の事例を参考にしながら研究を始めたい。



太陽光発電パネル

「島は一つ」の想いは

町「行き着く先に町が一つに」

質問 ①合併して10年、町長が就任して6年、その間消防署、病院の再編、新設高校、合併庁舎の位置など多くの課題が終わったが次に目指すものは何か。②将来の道筋を間違いないようにすべき。

答弁 ①合併したから小豆島町の魅力が対外的にアピールできた。両町が一つひとつの問題を解決してその行き着く先に一つになるのが良い。②意見は、重く受けとめたい。



水族館誘致の意気込みは

町「今後の状況を注視しながら、島にふさわしい水族館のあり方を研究したい」



松下 智 議員

質問 水族館の誘致に関する町民の声の一端に「水族館で観光客が増えるとは思えない」とか「将来的には、町財政の重荷になるのではないか」など、水族館構想への不安視する声があるのも事実である。そこで再確認をしたい。

があった。

また、県内の他市・町でも水族館建設の構想があり、準備が進められている状況下で、本町は推進方針に変わりはないのか。

②水族館構想は、あくまでも民設・民営と言っているが、仮に、水族館建設は実現したものの運営・管理に行き詰まり、第三セクター運営になるなど、将来的に地元町に財政負担がおよぶ心配はないと言い切れるのか。

答弁 ①・②これまでは新屋島水族館の閉館と、そこで飼育・展示されている貴重な海洋生物の移転も含めて、水族館の立地を働きかけてきた。その前提が白紙となった今、積極

的に働きかける状況ではなくなったと考えている。

しかし、現水族館を存続するためのハードルは、かなり高いと推測されるので、今後の動向を注視しながら、島にふさわしい水族館のあり方の研究を続けたい。また、民設・民営の水族館である以上、町としては、管理運営にかかる一切の負担を負うつもりは無いことを理解願いたい。



日プラ株による移動水族館

認定こども園建設は、将来計画を考慮しているか

町「幼稚園を統合する場合は、総合的に判断する」

質問 苗羽幼稚園と内海保育所を統合して、苗羽小学校内に新しい認定こども園を建設とあるが、少子化対策・待機児童解消等の重要で急がれる課題を抱えながら、事業費約6億円のうち、補助金0円であり、財源は地方債（借入金）と一般財源である。行財政効率化の視点から問う。

①認定こども園とは。②将来、幼児人口の減少から内海地区内の幼稚園の統合を余儀なくされる場合には、全員が就園できる規模の施設か。新たな建設を必要としないのか。計画のコンセンサスは得ているのか。

答弁 ①・②認定こども園は、幼稚園と保育所を一体的に行う施設で、保護者が働いていない場合や、在宅保育の場合でも利用できる。

将来、内海地区の幼稚園を統合することになった際は、認定こども

園や草壁保育所の状況を見て総合的に判断したい。また、計画のコンセンサスは、認定こども園推進検討委員会を中心に協議しながら、関係者の理解を深めている。



期待される認定こども園



鍋谷真由美 議員

子どもの

貧困対策を

町「貧困対策含め
子育て全般の
施策を検討」

質問 6人に1人の子
どもが貧困状態にある
など子どもの貧困が深
刻。町内の実態把握は。
生活支援施策、スクー
ルソーシャルワーカー
の配置、就学援助制度
の改善などを求める。

答弁 要保護・準要保
護の認定率(13・6%)
及び学校等における家
庭訪問を通して、把握。
奨学金制度や幼稚園・
保育所の第3子以降保
育料の免除、3歳児以
上の保育料上限額2万
円など経済的支援実施。

精神保健福祉士と心理
士の資格を持つスクー
ルカウンセラーを配置。
PTA会費などを就学
援助対象にすることは、
他市町の動向も注視し
検討したい。支給はで
きるだけ4月の早い時
期にしたい。真に困っ
ている場合は、前年の
所得にかかわらず認定
した事例もある。

内海診療所の

体制は

町「内科の
予約診療が
主となる」

質問 内海診療所の体
制は。将来、小児科、
外科などの診療、福田
診療所の再開の検討は
できないのか。

答弁 月曜から金曜日
まで、医師1名、看護
師2名、事務員1名の
体制で、午前中に内科
の予約診療を行う。主

治医が必要な検査の有
無などを考慮、患者と
相談し予約を決めてい
る。血圧測定、検尿、
エックス線撮影、心電
図など備えつけの機器
で実施できる検査は行
われる。医師確保の問
題で、現時点ではその
他の診療科目や福田診
療所の再開は考えてい
ない。



子ども医療費

無料化を

高卒までに

町「現時点では
考えていない」

質問 全国では、1割
以上の自治体が、18歳
まで通院無料。直島町
は4月から高卒まで引
き上げる。子育て支援

として、高校卒業まで
医療費助成対象年齢を
引き上げる考えはない
か。

答弁 他市町の状況、
町の医療費の動向、施
策の優先順位などを考
えると、現時点ではそ
の考えはない。

水道広域化で

水道の安全は

守れるのか

町「県から明確な
説明を受ける
ことが大前提」

質問 安心できる飲料
水の供給、災害時の対
応など、命に直結する
水道事業は町が責任を
持つべきもの。広域化
で、町民の声が届かな
くなり、設備更新や水
道料金の在り方などに
ついて町は決定権を失
う。町民が内容を十分
に知らされずに進める
のは問題だ。

町長は、昨年「条件
つきで設立準備協議会
に参加。納得がいった
場合に正式に参加する」
と言われた。命の水を
保証する水道行政をど
う担保し、最終判断は
どの時点とするのか。

答弁 水道の広域化は、
経営の安定化を目指す
もので必要だと考える。
水道供給事業は市町村
がするというのが大原

則で県から明確な説明
を受けるといことが
大前提。いろいろな問
題点についてまだ議論
されていないことが多
くある。協議会で明ら
かになったことを議会・
町民の皆さんと議論し、
平成29年9月議会で最
終判断を得る予定。

その他の質問
・町長の政治姿勢につ
いて



広域化しても安全な水の確保を



14人の星城・安田小学校議員の皆さん

町内4小学校による小学生議会

「町長・教育長に質問」

2月8日に星城・安田小学校の児童14人、2月15日に池田・苗羽小学校の児童16人による、小学生議会が開かれ、子どもの視点からみた、町づくりに対する質問を行いました。

いしい すみれ 議員 安小
石井 純鈴



小豆島が目目されるよう、オーリーくんのような、ゆるキャラを増やしては。
(答弁) 現在「オリーブしまちゃん」などがあります。増やす方法と、小豆島を代表する「公式ゆるキャラ」を作っていくか考えたいです。

やまもと そうし 議員 安小
山本 蒼士



海沿いの国道よりも山側にバイパス道路を作る考えはありますか。
(答弁) 国・県に要望し、計画的に少しずつバイパス道路は整備されています。また、用地の取得は地権者の協力によりできています。

たにべ うみ 議員 安小
谷部 優海



イノシシ被害を減らす対策はありますか。
(答弁) エサをきちんと処理する「環境づくり」、防護柵を付ける「防護」、ワナ等で捕まえる「捕獲」を利用して対策を進めています。

ばんだい おうすけ 議員 安小
萬代 應介



小豆島の特色を生かした職場づくりの活動は。
(答弁) オリーブ公園・ふるさと村・二十四の瞳の映画村を一般財団法人として運営、3公社で101名の雇用を創出しています。

なかがわ ひびき 議員 安小
中川向日葵



小豆島大学をつくることはできるのでしょうか。
(答弁) オリーブの研究や病院のスタッフ育成、スポーツの合宿をする大学のサテライト(小豆島分校)はできるかもしれません。

やぶわき こうせい 議員 安小
藪脇 昂正



スポーツ施設等、小豆島高校跡地の利用の計画は。
(答弁) 所有は香川県となり、今後プロジェクトチームを作り、閉校となる平成29年3月の期限にとらわれず有効な活用を図ります。

はまべ じゅんた 議員 星小
濱邊 絢太



回転寿司などのフードチェーン店を誘致するのはどうでしょうか。
(答弁) チェーン店を誘致するより、島の素晴らしい食材を活かした、美味しい料理を提供し、自慢したいと思います。

たちばな きょうへい 議員 星小
立花 匡平



小豆島(三都半島)と高松(志度大串岬)を橋でつないでは。
(答弁) 橋を作る予定はありません。瀬戸芸のテーマが「海の復権」であるように、船で海を渡る島々だから小豆島に魅力と可能性があります。

さかくち りな 議員 安小
坂口 凜奈



災害に対する備蓄計画はどのようになっていますか。
(答弁) 小豆島中学校倉庫に、水、食料、毛布などを備蓄。池田地区にも整備を計画中です。日頃から、各家庭でも備蓄することも大切です。

かわさき なない 議員 星小
川崎 七愛



「生そうめん」など、新たな小豆島の特産物のPRを考えては。
(答弁) 東京の大きな展示会や神戸市「みなとまつり」などのイベントに、毎年企業と参加し、特産品のPRと情報収集をしています。

かたもと らいる 議員 星小
潟元 来瑠



美しい寒霞溪の環境を守るための取組みは。
(答弁) 住む私たちが、寒霞溪を愛す気持ちを持ち続けることです。神懸山保勝会による下草刈、松くい虫予防、清掃活動をしています。

とくやま さとし 議員 星小
徳山 聡



瀬戸芸をきっかけに移住して来た人はいるのでしょうか。
(答弁) 地域おこし協力隊員をはじめ、ここ数年、若い世代を中心に100名を超える移住者が来ています。

ありもと わかな 議員 星小
有本 和叶



お年寄りや退職者が楽しめるクラブづくりと施設が必要では。
(答弁) 「生涯学習のまちづくり支援事業」でサークル活動を支援し、小規模多機能施設等で楽しめる老人福祉施設を整備しています。

よしだ たけし 議員 星小
吉田 健志



県内で人口減少率が一番著しいが何か取り組みはありますか。
(答弁) 空家の有効活用、医療・福祉の充実や子育て支援、働く場の確保などにより、昨年は131名の移住者がありました。



たけだ ひさと
竹田 悠人 議員 池小



池小校区で公園・広場等の遊べる場所の確保について。

(答弁) 4月からイマージュセンター広場を約1,000㎡の未舗装の広場として利用でき、池田地区に15箇所の遊具が設置された遊び場があります。



16人の池田・苗羽小学校議員の皆さん

なかい ゆい
中井 友唯 議員 池小



小豆島中央高校の開校時、蒲生に押しボタン信号を設置しては。

(答弁) 押しボタン信号機は、警察の設置判断が必要であり、今後、関係団体と連携し、安全確保を図っていきます。

でみず もとやす
出水 元康 議員 池小



第3回瀬戸芸で小豆島の魅力を知ってもらう取組みを教えてください。

(答弁) 色々な場所で「アート作品・自然・文化」をPRし、島の魅力を守り磨くことが一番大切です。

ひらおか ゆづき
平岡 柚月 議員 池小



美しい町にするために公園などに分別ごみ箱を設置しては。

(答弁) ごみの収集や費用の問題、テロ対策の理由から公共の場所からごみ箱は減少しており、自分で出したごみは持ち帰って頂きたい。

しみず たける
清水 洸瑠 議員 池小



先生以外の人の出前授業を増やしてほしい。

(答弁) まずは学校の先生の授業をきちんと受け、地域おこし協力隊員の出前授業や、コミュニケーション能力を養うワークショップをしています。

かわもと えりか
川元瑛里加 議員 池小



高齢者がすみよい町になるための取組みは。

(答弁) 健康で元気に過ごせるような場をつくり、地域での助け合い・支え合いなどができる仕組みをつくるのが大切です。

なかの だいや
中野 大也 議員 池小



鹿やイノシシへの取組みの効果はどれくらいあるのでしょうか。

(答弁) 中山、北地、木庄、安田、坂手地域の山側を柵で囲み、また個人で柵をされています。26年度は鹿520頭、イノシシ463頭の捕獲です。

あけだ なほ
明田 奈穂 議員 池小



新高校に女子野球部をつくってもらいたい。

(答弁) 県立高校のため、県と校長先生の方針もあります。女子野球部は9人以上の部員の確保が必要となるが県と協議していきます。

こだま そうた
児玉 颯太 議員 池小



新病院で待ち時間を減らす工夫はありますか。

(答弁) 医師が増え、多くの患者や急患を診察できるようになり、これまで医師が行っていた事務作業を行う専門の事務員を配置します。

おおした はな
大下 英菜 議員 池小



大きなけがや病気の治療ができる設備は整っていますか。

(答弁) 新病院では、多くの医師が働き、一般的な治療は全てでき、他の病院に負けないような機器を整備しています。

たかお まひろ
鷹尾 真大 議員 池小



進学で島を出た後、戻ってこれる環境(就職先)が必要では。

(答弁) 歴史がある食品産業とインターネットを活用した情報通信の仕事が今後増え、町は必要となる支援を行います。

しょうの じんゆう
庄野 仁悠 議員 池小



小豆島町合併10周年にお祭りのイベント開催を。

(答弁) 今年は色々なイベントを検討しており、小豆島から平和を発信し、皆さんが楽しめるよう企画をしたいです。

かじ あゆみ
鍛冶 歩実 議員 池小



新しい病院・高校ができバス等の交通網の整備は。

(答弁) 島の公共交通の全体の仕組みを見直し、バス運賃の値下げ、路線・ダイヤ変更を進めています。皆さんも、通学時に路線バスを利用してください。

やまだ ゆうま
山田 悠真 議員 池小



船を道路として考え、船料金を無料化しては。

(答弁) 海上交通は大切な役割で、島と島を結ぶ生命線です。船の運賃は国や県などと議論をし、ルールを作ることが必要です。

もりかわ あんせる
森川アンセル 議員 池小



新しいごみ埋め立て場の計画はありますか。

(答弁) 年間5千トン埋立し、6年余りで満杯になるため、次の場所を探し、土庄町と相談しているので、ごみを減らすことに協力ください。

まつもと こうが
松本 紘河 議員 池小



小学校を近々統合する予定はありますか。

(答弁) 各小学校は地域を愛する心を育成し、学びの基礎を作る場であると考えており、当分の間は統合する考えはありません。



「昨日・今日・明日」

肥田 高成

(草壁本町自治会 総代)

草壁本町自治会は 約420世帯、人口約840人、6地区で構成され、地区内には高校、小学校、幼稚園、保育園があります。

私の記憶のなかには昭和30年代でしょうか、4月の本堂花まつりでの大変な人出、秋の紅葉時期、草壁港に朝早く臨時便が着きたくさんの人々が寒霞溪へ紅葉狩りに向かっていました。商店街もたいへん賑わっていましたが現在はその面影はなくやはり寂しいです。しかし草壁港は高松行きのフェリー、高速船が運航し島の玄関の一つです。最近に移住してこられた方もおいでますのでそういう方々とも協調し活性化したいです。

今年には内海病院も移転しますし、小豆島高校も来年度、池田蒲生地区へ移り人の流れも変わ

ると思われます。草壁地区としては津波、高潮などの防災対策、小豆島高校の跡地利用、草壁港沖の埋め立て地の利用等課題があります。現在は老人会、婦人会の活動は非常に活発でまた当地区はお祭り、行事等が多く、皆さんの力強い協力にはいつも感謝しています。

今年には2016瀬戸芸で草壁港周辺においても芸術作品が展示されますのでどういう人の流れになるか興味がありますし、出来るだけ協力しようと思います。

何十年後どうなるかわかりませんが住みよい小豆島、草壁地区であるように私たちは今から準備していこうと思っています。



私達スプリッツァーは12年前に結成されたダンスチームです。といっても本格的なダンスなどしたこともなく、ただ踊ってみたという気持ちだけで集まりよつみまねで練習していました。しかしそれだけでは物足りなくなりプロの先生の本格的なレッスンを受けたり、色々な場所で踊る機会をもらえ、ダンスの楽しさを全身で体験しました。そして今度は私達が習ったことを『島の子供達にも伝えたい！体験してもらいたい！』と思い7年前から年1回子供ダンス教室を開催しています。教室では体を動かす楽しさや自分の踊りをどんな風に表現するか等を考え、何回も練習して皆で一つのステージを作りあげていく達成感や喜び等、たくさん素敵な出来事を体験します。そして本番のステージで出会う子供達の最高の笑顔とパワーに私



スプリッツァー
子供ダンス教室



達大人も感動します。これからダンスの楽しさをたくさんの子供達と一緒に体験しながら小豆島にもっともっとダンスを広めていきたいと思っています。

【子供ダンス教室】

池田小学校体育館
5月8日・15日・22日
午前10時～11時半
※小学生対象

【お問合せ先】

寺田
0879-75-1993
0879-75-12966



編集後記

二十一世紀枠に選ばれた小豆島高校が夢の甲子園に出場、選手宣誓も立派だった。

「小豆島と言えば二十四の瞳と言われているが甲子園出場はそれに近い出来事だ」と喜びの声が聞こえた。

早朝から参加した応援団は球場を埋め尽くしテレビで見る球場の印象も忘れられない。

杉吉監督の「トップダウンでなくボトムアップが大切」との言葉が夢を引き寄せた。町行政にも取り入れたい。

あの津波の辛い思いを乗り越えてきた釜石高校の活躍、応援も良く小豆嶋（しょうずしま）との縁も聞こえてきた。勇気が湧く。

森 崇 記

本紙に対するお問い合わせは

発行 小豆島町議会 ■編集 小豆島町議会広報編集特別委員会

〒761-4388 香川県小豆郡小豆島町池田2100-4 TEL(0879)75-1100 FAX(0879)75-0108

E-mail olive-gikai@town.shodoshima.lg.jp

議会の傍聴（6月予定）にお越しください。

議会だより 平成28年5月1日 14